



《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にできる子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和6年11月22日 発行者 柴山 敬
<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/>

「ワンランク上の自分」を目指して
 学習発表会終わる

10月25日に学習発表会を開催しました。当日は帯広市教委の広瀬容孝教育長をはじめ、多くの保護者や地域の方々にお越しいただきました。ありがとうございました。

今回のテーマは児童会が中心となり「輝く世界が幕の向こうで待っている」に決定。写真のように1年生が色紙を貼り付けて横断幕を完成させてくれました。



この発表会のために子供たちは、先生方と一緒にたくさん練習をしました。コロナ禍を経て、市内の小中学校では、準備時間を10時間程度とし、音楽や体育などを中心とした内容への編成が進められています。本校においても日常の授業に基づく内容を取り上げ、準備時間の短縮をはかるとともに、子供たちにとって学習を深められる機会になるよう取り組んでいるところです。



今回はこれまで音楽の授業で学んだ曲で歌や楽器演奏をしたり、国語の教科書にある物語を演技で表現したりする活動を行いました。限られた練習時間の中で、子供たちは「…できるように」「…をする」などの目標を自身で掲げ、その達成に向けて台詞や振付を覚えたり、楽曲の演奏を繰り返し練習したりして本番を迎えました。



裏面へ続きます⇒

日	曜	12月の行事予定
2	月	おび学(食育4年)
3	火	おび学(食育3年) ALT(2・6年)
4	水	ALT(3・5年) Sアップ
5	木	児童会⑧ 標準学力調査(3・5年) ALT(6・4年) おび学(食育6年) 読み聞かせ(2年)
6	金	標準学力調査(3・5年)
9	月	おび学(食育2年)
11	水	Sアップ
12	木	おび学(食育1年) ALT(5・3年) Sアップ 読み聞かせ(1年)
13	金	ALT(4・6年)
14	土	北栄元気クラブ
16	月	にじいろお楽しみ会②
17	火	ALT(1・4年)
18	水	Sアップ
19	木	読み聞かせ(3年)
24	火	終業式 冬休み計画発表 大掃除

本校の今年度の教育の重点として「試み」「挑戦」「達成感」の3つのキーワードを挙げており、学習発表会などの活動を「達成感」に位置付け、子供たちが仲間と力を合わせて意思決定して行動し「達成感」を得られるように指導や支援の充実に努めています。本番2日前の総練習で子供たちに次の言葉を提案しました。

ワンランク上のじぶん

一生懸命にがんばること。相手や周りの人の気持ちを考えて行動すること。一生懸命に取り組んで、もし思ったような結果が得られなかったとしても以前の自分よりも成長した自分に出会えるはず。「ワンランク上の自分」を目指そう！と。



当日はどの発表も子供たちの一生懸命さが伝わってきました。演奏や演技が得意な子も、そうでない子も練習で培ってきた力を出し切った様子で、とても嬉しく思いました。学習発表会後に発行された各学級だよりには「できるようになったこと」「次にやってみたいこと」など、子供たちがそれぞれ「達成感」を得られていたことが綴られていました。

子供たちが「達成感」を得られたのは、子供たちの努力、学級や学年での指導、そして保護者の方々の温かなご支援のおかげによるものと思っています。本当にありがとうございました。

「子どもの発達とメディア」 一中エリア・ファミリー講演会

11月5日に第一中学校エリア・ファミリー主

催の「スマホ安全教室」が開催されました。講師の子どもとメディア北海道インストラクターの工藤美栄子氏からは、スマホやゲームが子供の健康や心身の発達に与える影響について、次のような話がありました。



▶心への影響として

感情のコントロールができない子供たちが増えてきていること。特に幼児期からスマホなどを見続けてきたことによって、泣く、怒る、叫ぶ、笑う、暴れるなどの興奮状態を鎮める経験を十分にしていなかったことが原因の一つと考えられています。

▶脳機能への影響として

オンラインゲームなどが深刻なゲーム障害(ネット依存)を引き起こす可能性があること。アルコール依存や薬物依存と同様の状態となり、回復するためには専門医による治療が必要で、多くの時間も必要となります。

▶学力への影響として

ある調査によると、スマホを1時間以上使うと学習成績にマイナスの影響が出てしまうこと。スマホよりも読書。本を読むことで脳が育ち、音読が脳の働きを活発にする効果があるようです。

〈大事なこと〉

- スマホやゲーム機などの使用ルールを作ること。特にインターネットの利用については「青少年インターネット環境整備法」で保護者の責務が定められています。
- 子供がスマホやゲームの使用時間を自分でコントロールできるようになること。ペアレンタルコントロールなどで使い方を制限するだけでなく、子供の主体性を育みながら自身の問題として取り組めるよう支援していくことが必要です。